

令和7年1月23日

各市民センター館長 様

小倉南区役所コミュニティ支援課
地域交流担当課長 増田 真二

令和7年度生涯学習推進コーディネーターの推薦について（依頼）

本市では、「北九州市生涯学習推進計画《“学びと活動の環” 推進プラン》（令和3年度～令和7年度）」に基づき、市民一人一人の自己実現や学習した成果を活動に活かす自主的・主体的な学習活動を支援し、循環型生涯学習社会づくりを目指すこととしています。

とりわけ、地域における生涯学習を推進し、学習成果を活かしたい市民とそれを求める市民や諸団体をつなぐ役割を担う生涯学習推進コーディネーターの人材の発掘・育成が重要です。

このため、生涯学習推進コーディネーターの配置を所管している総務市民局生涯学習課から令和7年度の推薦について依頼がありました。

下記のとおり推薦書と関係書類の提出をお願いいたします。

記

1 提出書類

- （1）生涯学習推進コーディネーター推薦書（様式1）＜市民センターで作成＞
- （2）被推薦者履歴書（様式2）＜被推薦者が作成＞

2 その他配布資料

- （1）推薦にあたっての留意事項
- （2）生涯学習推進コーディネーターへの説明チラシ
- （3）生涯学習推進コーディネーター制度運営要項

3 提出期限 令和7年3月4日（火）までをお願いいたします。

4 提出及び問い合わせ先

小倉南区役所コミュニティ支援課生涯学習係担当者 前田

電話 951-4115

メールアドレス minami-shakaishuji01@city.kitakyushu.lg.jp（前田）

(様式 1)

生涯学習推進コーディネーター推薦書

館名	区		センター			
館長名	(フリガナ)		(フリガナ)			
		コーディネーター 候補者名				
登録年度	該当するものに○をつけてください。					
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> コーディネーターの登録年度 ・・・ 年度 年度 年度 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> (3年次) (2年次) (初年度) </div>					
推薦理由	推薦理由					
	当該市民センターの所管地域内に居住していない方の推薦理由（初年度のみ記入）					
コーディネーターに期待すること						

*市民センター館長がご記入ください。

被推薦者履歴書

氏名	(フリガナ)		活動場所 区 市民センター	
生年月日	年 月 日 (満 歳)			
住所	〒 区		☎ ー	
資格免許	① (年) ③ (年)			
	② (年) ④ (年)			
活動歴	下記のような活動歴がある場合は、ご記入ください。			
	① 市民センター活動			
	② P T A 活動			
	③ 女性団体活動			
	④ ボランティア活動			
	⑤ 地域活動			
	⑥ その他の活動			
特記事項	コーディネーターとして取り組んでいきたい事柄を自由にご記入ください。			
	特技		運転免許	有 無

【個人情報の取扱いについて】

本履歴書に記載された個人情報は、生涯学習推進コーディネーター配置事業のみに使用し、他の目的に使用することはありません。

推薦にあたっての留意事項

1 推薦人員

各市民センター 1名

2 登録期間

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで 1年間

3 人選について

生涯学習ハンドブック『生涯学習推進コーディネーター制度運営要項「6推薦の要件」』のとおり

4 被推薦者一覧記入上の留意点

(1)様式1…… 市民センターで作成

(2)様式2…… 被推薦者が作成

※2年次、3年次の方については、内容に変更がない限り履歴書の提出は不要です。

(3)様式1－2… 各区役所コミュニティ支援課で作成

※ 上記様式の個人情報の作成及び管理については、取り扱いに十分ご留意ください。

生涯学習推進コーディネーター



生涯学習推進コーディネーターってなに？

地域のボランティアとして、市民センターで行われる生涯学習活動の企画・運営などに関わることを通じて、地域において「人と人をつなぐ」、「人とセンターをつなぐ」パイプ役としての役割を担います。

地域に関する様々な情報、地域の人たちの学習ニーズをもとに、市民センターの館長さんや職員さんと一緒に学習機会を提供していきます。

【生涯学習】

一人ひとりが、人生を豊かに生きるため、また豊かで安心して暮らせる社会の実現のため、「いつでも、どこでも、だれでも」、それぞれの興味・関心や生活課題などに応じて行われる、様々な「学び」と「活動」のことです。

【生涯学習推進コーディネーター制度】

地域の生涯学習を支援するボランティア制度として、平成2年からスタートしました。市民センターと地域をつなぐキーパーソンとして、多くの市民センターで活躍しています。



どんな活動をするの？

市民センターで以下のような活動を行います。

1. 生涯学習事業の企画・運営に関すること
2. 市民センターだよりの作成などの広報に関すること
3. その他の市民センター事業に関すること

※決められた活動回数、活動時間はありません

※市民センターと相談しながら、ご自身の都合の良い時間帯に活動できます

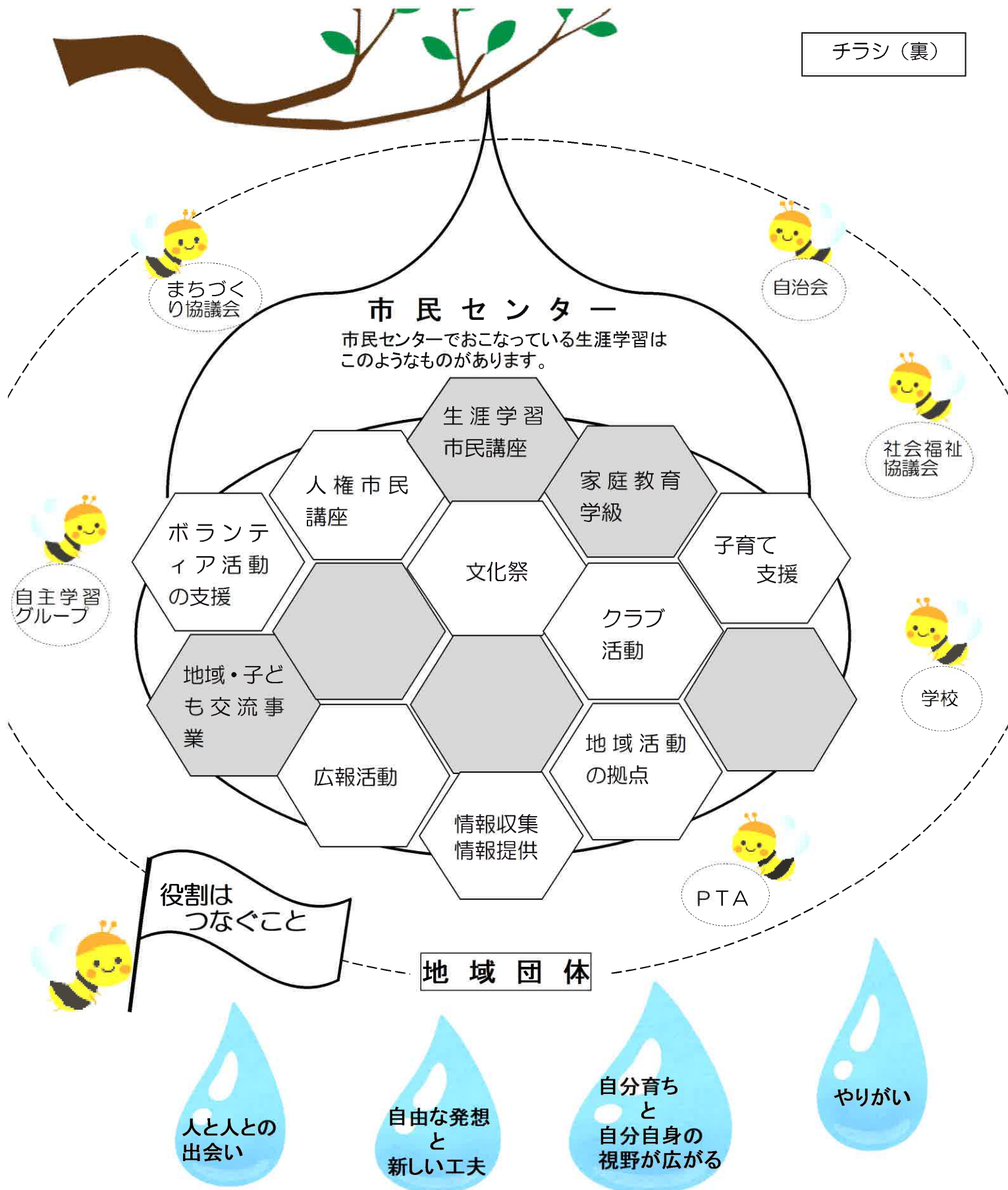
※子育て中の方、働いている方も、たくさん活躍しています！



経験がないので不安・・・

スキルアップのための研修を区役所や市役所で行っています。研修に参加して、活動に役立つ知識・スキルの習得を通じて、新たな自分の発見に役立ててください。

また、研修には、他の市民センターの生涯学習推進コーディネーターさんも参加します。研修をきっかけに、新たな繋がり作りにもチャレンジしてください。



生涯学習とは…

すべての人々がそれぞれのニーズに応じた多様な学習を生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において自発的・能動的に行うこと。

まずはあいさつをしましょう！

一步一步できる範囲で、できることから楽しく取り組んでいきましょう♪

生涯学習推進コーディネーター制度運営要項

1 目 的

各市民センター（以下「センター」という。）に、地域のボランティアである生涯学習推進コーディネーター（以下「コーディネーター」という。）を配置することで、生涯学習を通して、市民の学習要求に応えられる人材、地域とのパイプ役となる人材として育成し、センター館長及び職員と協力しながら、地域の生涯学習事業の充実及び生涯学習の促進を図る。

2 活 動

コーディネーターは、一つのセンターに所属し、その運営方針のもと主に次の活動を行う。活動時間はコーディネーターの任意の時間とする。

- (1) 生涯学習事業の企画・運営に関すること
- (2) 館報作成等の広報に関すること
- (3) 上記活動に資する研修への参加

3 登 録

- (1) 総務市民局生涯学習課（以下「生涯学習課」という。）は、センター館長からの推薦により、コーディネーターの登録を行う。
- (2) 生涯学習課は、登録したコーディネーターに対し、生涯学習推進コーディネーター登録証（以下「登録証」という。）を交付し、コーディネーターは活動中登録証を携帯する。
- (3) 生涯学習課は、以下の場合、登録を抹消する。
 - ア コーディネーターからの要望に基づく場合
 - イ コーディネーターが、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員又は同号に規定する暴力団員若しくは同条第2号に規定する暴力団と密接な関係を有する者であることが判明した場合
 - ウ 生涯学習課がコーディネーターとして不適任と認める場合

4 登録の期間

コーディネーターの登録期間は、4月1日から翌年3月31日までの1年とする。ただし、再任は妨げないが、最長登録期間は原則3年とする。

また、欠員が生じた場合に補充された者の登録期間は、前登録者の残余期間とする。

5 推 薦

センター館長は、毎年、生涯学習課が指定する期日までに、下記のとおりコーディネーターを推薦する。

- (1) センター館長は、推薦しようと思う者から被推薦者履歴書（様式2。以下「履歴書」という。）を徴し、6の推薦の要件に照らし推薦の可否を決定する。
- (2) センター館長は、推薦する者について生涯学習推進コーディネーター推薦書（様式1。以下「推薦書」という。）及び履歴書を各区役所コミュニティ支援課（以下「コミュニティ支援課」という。）に提出する。
- (3) コミュニティ支援課は、(2)の推薦書を生涯学習課に提出し、履歴書はコミュニティ支援課で保管する。

6 推薦の要件

- (1) 上記2の活動を行う能力を有すると認められる者で、上記1の目的を達成するのに適任であると認められる者。ただし、年間を通じて雇用されるセンター職員は除くものとする。
- (2) コーディネーターは、できるだけセンターの所管地域内に住所を有する者が望ましい。

7 活動報告書

コーディネーターは、活動報告書（様式5）を翌月10日までにコミュニティ支援課に提出する。

8 費用弁償

（1）コーディネーターには、生涯学習課及びコミュニティ支援課が主催する研修に参加する場合は、1回あたり1,000円を支払う。

（2）コミュニティ支援課長は、コーディネーターに対し、（1）の費用弁償を行う。

9 研 修

コーディネーターの資質向上を図るため、生涯学習課、コミュニティ支援課及びセンターは、研修の充実に努める。

10 責 務

コーディネーターは、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。

11 登録証の再交付

（1）コーディネーターは、交付された登録証を紛失し、もしくは損傷し、または氏名に変更があった場合は、「生涯学習推進コーディネーター登録証再交付届」（様式3。以下「再交付届」という。）をコミュニティ支援課を通じて生涯学習課へ提出しなければならない。

（2）生涯学習課は、再交付届を提出したコーディネーターに対し、登録証を再交付する。

12 辞 退

コーディネーターが活動を中止し登録を辞退しようとするときは、「生涯学習推進コーディネーター登録辞退届」（様式4）をコミュニティ支援課を通じて生涯学習課へ提出しなければならない。

13 登録証の返還

3（3）及び12の場合、コーディネーターは既に交付を受けた登録証を速やかに返還しなければならない。

14 その他

この要項に定めるもののほかコーディネーター制度の運営に必要な事項は別に定める。

附 則

この要項は、平成15年4月1日から適用する。

この要項は、平成17年1月1日から適用する。

この要項は、平成18年4月1日から適用する。

この要項は、平成21年4月1日から適用する。

この要項は、平成23年4月1日から適用する。

この要項は、平成24年4月1日から適用する。

この要項は、平成26年4月1日から適用する。

この要項は、平成28年4月1日から適用する。

この要項は、平成29年4月1日から適用する。

この要項は、平成31年4月1日から適用する。

この要項は、令和4年4月1日から適用する。

令和6年度 生涯学習推進コーディネーター配置状況

2024年9月11日

【年次別】

区	新規	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	7年次	8～9年次	10年次	11年次	計	配置率
門 司 区 17館	2	2	1	0	1	0	0	0	0	0	6	35.3%
小倉北区 21館	2	1	0	0	0	2	0	0	0	0	5	23.8%
小倉南区 24館	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	8	33.3%
若 松 区 11館	2	2	0	2	0	1	0	0	0	0	7	63.6%
八幡東区 12館	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3	25.0%
八幡西区 33館	1	1	1	1	2	0	0	1	0	0	7	21.2%
戸 畑 区 12館	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4	33.3%
計 130館	14	10	4	4	4	3	0	1	0	0	40	30.8%
構成比(年次)	35.0%	25.0%	10.0%	10.0%	10.0%	7.5%	0.0%	2.5%	0.0%	0.0%	100.0%	

【年代別】

区	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計	配置率
門 司 区 17館	0	1	1	2	2	0	0	6	35.3%
小倉北区 21館	0	1	1	1	0	1	1	5	23.8%
小倉南区 24館	1	1	2	2	2	0	0	8	33.3%
若 松 区 11館	0	1	5	1	0	0	0	7	63.6%
八幡東区 12館	0	0	0	1	1	1	0	3	25.0%
八幡西区 33館	0	0	3	0	4	0	0	7	21.2%
戸 畑 区 12館	0	0	1	1	1	1	0	4	33.3%
計 130館	1	4	13	8	10	3	1	40	30.8%
構成比(年代)	2.5%	10.0%	32.5%	20.0%	25.0%	7.5%	2.5%		

生涯学習推進コーディネーター配置数（推移）

区	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
門 司 区	8	9	10	11	5	7	6
小倉北区	6	7	5	8	7	6	5
小倉南区	16	13	16	16	10	9	8
若 松 区	8	6	7	9	7	7	7
八幡東区	8	8	6	5	6	6	3
八幡西区	17	13	11	11	8	9	7
戸 畑 区	4	3	5	6	5	4	4
計	67	59	60	66	48	48	40

※各年度末の配置数